出題趣旨・採点基準（小論文）配点 200 点

小論文試験は、くじ引き民主主義の可能性に関する文章を読解して長文の作成を求めるものである。問１、問２に共通して、⑴日本語の表現力を問うているほか、内容的に、問１では、⑵著者の主張を正確に理解し、⑶その論拠を、意味内容を理解した上で的確にまとめることができることを問い、問２では、⑵著者の提示する議論の構図を十全に把握した上で、⑶自らの見解を、理由を挙げて説得的な仕方で提示することを問うている。以上によって、法科大学院での履修の前提として要求される論理的思考・判断力、理解・分析力及び表現力を備えているかを判定した。